



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・ご自身の試料（血液・髄液等）や情報を提供したくない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で
大うつ病と診断された方

【研究課題名】

精神神経疾患に特異的な新規バイオマーカーの開発

【研究責任者】

毛利 彰宏(藤田医科大学 医療科学部 レギュラトリーサイエンス分野)

【本研究の目的及び意義】

大うつ病の新しいバイオマーカー（目印）の探索を行います。バイオマーカーは疾患の進行度、治療効果等を簡便・迅速に判定する際に非常に重要なため、新しいバイオマーカーの発見が大うつ病の早期発見・早期治療にも繋がることが期待されます。

【本研究に提供する試料・情報】

血漿

心理検査結果、症状経過に関する情報、電気や磁気を用いた脳刺激治療の有無および時期、性別、年齢、診断名、試料採取日、血液検査結果

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2029年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

なし

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)